

令和6年度使用 小学校教科用図書調査研究結果

外国語

令和5年8月23日（水）

伊予市教科用図書調査委員会

【調査・研究資料】教科名（ 外国語 ） No 1

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
2 東京書籍	NEW Horizon Elementary	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切なものが選択されている。 ○ 児童の発達の段階に適応している。 ○ 教科書、別冊ともに製本サイズはA4判である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容のテーマは、5年生が「日本」、6年生が「世界」となっている。 ○ 各単元、「Starting Out」で表現に出会い、「Your Turn」で表現に慣れ、「Enjoy Communication」で単元の目標となる活動を行う構成になっている。さらに、「Over the Horizon」で学習内容をもとに視野を世界へと広げられるようになっている。 ○ QRコードがあるため、対話のモデル映像や資料映像を視聴することができる。 ○ 別冊「My Picture Dictionary」では、教科書の活動にリンクした語彙がジャンル別にまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の冒頭に、学習評価の基準である3観点に対応した目標が明示され、該当するページでそれぞれの目標に対する振り返りや自己評価をすることができるようになっている。 ○ 「Sounds and Letters」ではスモールステップで文字指導ができるようになっている。 △ 分かったことや気付いたことを書く欄が多く設けられていたり、5年生の初期段階から、文字を書く活動が多く設定されたりしていることが、児童の負担になると考える。 ○ デジタル教科書では、音声の再生、ペンツールでの書き込み、保存等ができる。 	<p>目標に対する振り返りや自己評価、教科書紙面の書き込みスペースを利用することで、評価に活かすことができる。</p> <p>「Over the Horizon」では、写真が豊富に使われており、世界に興味をもち、主体的に外国語を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度が養われるように配慮されている。</p> <p>しかし、分かったことや気付いたことを書く欄が多く設けられていたり、5年生の初期段階から文字を書く活動が多く設定されていたりすることが、児童の負担になると考える。</p> <p>デジタル教科書では、音声の再生、ペンツールでの書き込み、保存等ができる。</p>

【調査・研究資料】教科名（ 外国語 ） No. 2

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
3 開隆堂出版	Junior Sunshine	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切なものが選択されている。 ○ 児童の発達の段階に適応している。 ○ 教科書、別冊ともに製本サイズはA4判である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分、身近な地域や人たちのこと、日本や興味のある外国のこと、思い出や将来のことへと2年間を通して話題を広げており、児童の興味や関心、生活経験に合った学習を展開することができる。 ○ 各単元で身に付けさせたい力が明確化されている。ゴールの言語活動に向けて、ペアやグループでの協働的・対話的な活動を通して、毎時間、学習を積み重ねていける構成になっている。 ○ QRコードがあるため、聞くことを中心とした学習がしやすい。 ○ 別冊「Word Book」では、各学年の学習内容に合わせて語句が精選され、カテゴリー別に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末の「CAN-DO チェック」では、単元末の自己評価が書き込めるようになっており、学習の足跡を教科書に残すことができる。 ○ 音声から文字への学習が円滑につながるように単元が構成されている。単元終末には、毎単元、音声と文字を学習するコーナー「Sounds and letters」があり、アルファベットの学習がスモールステップで継続的に行うことができる。 ○ デジタル教科書では、音声の再生、ペンツールでの書き込み等ができる。 <p>△ 教科書の聞く活動では、場面設定を大切にしているため、日本語の指示が長い。紙面に文字が多く、見づらい印象を受ける。</p>	<p>巻末の「CAN-DO チェック」で、各単元末での自己評価ができ、児童は自らの成長や課題に気付き、学習を調節する力や見通しをもって主体的に学習に取り組むことができる。</p> <p>各単元で身に付けさせたい力が明確化されており、毎時間、言語活動を積み重ねていくことができる。また、音声から文字への学習が円滑につながるように単元が構成されている。アルファベットの学習ではスモールステップで継続的に行うことができる。</p> <p>聞く活動では、場面設定を大切にしているために日本語の指示が長く文字が多い。全体的に見づらい印象を受ける。</p>

【調査・研究資料】教科名（ 外国語 ） No. 3

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
15 三省堂	CROWN Jr.	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切なものが選択されている。 ○ 児童の発達の段階に適応している。 ○ 製本サイズはA B判である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Hop」「Step」「Jump」の三段階で大単元を構成して学習内容を配列しており、学ぶプロセスを「見える化」している。目標からゴールまでが分かりやすい。 ○ ABC Fun Box や Try など、楽しみながら英語の文字や音・表現を学習することができる。二次元コードからアクセスできるウェブサイトがあり、音声を中心に学習することができる。 ○ Unit の学習を終えた後、語句や絵から内容を推測できる力を養うために、世界の物語が配置されている。 ○ 世界の文化を知ったり社会問題について考えたり、また他教科での学びを生かせる内容などが配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Jump」では、目的や場面、状況を考えて表現する内容が入っているため、「話す（発表）」の基礎的な技能の定着が図れる。 ○ 楽しいイラストで調べたい語句を確認できる絵辞典があるため、「書くこと」への抵抗が少なくなり、基礎的な技能の定着が図れる。 ○ 指導者用デジタル教材では、簡単な操作で音声や動画を再生することができる。また、児童用デジタル教材では、ゲーム感覚で学習できる単語学習や、活動の内容を分かりやすく示した例などがある。 <p>△ 文章を書き写すワークシートやカードがやや少ない。言語活動の記録を残したり、協働的な学習をさせたりするには、指導者が別に準備する必要があり、負担が大きくなる。</p>	<p>単元の目標を達成するために、「Hop」「Step」「Jump」の三段階で学習内容を配列しており、系統的・発展的に構成されている。大単元ごとのゴールが明確になっているので、児童にとっても教師にとっても取り組みやすい。</p> <p>「話すこと」「聞くこと」を繰り返し行い、定着を図れるようになっており、基礎的な技能が身に付くように配慮されている。</p> <p>イラストを参考にして物語の内容を聞き、概要を把握する活動を取り入れるなど、主体的に外国語を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度が養われるよう配慮されている</p> <p>単元ごとの振り返りになる言語活動の記録やカードなどが十分ではないため、指導者が事前に準備する必要があり、負担が大きくなると考える。</p>

【調査・研究資料】教科名（ 外国語 ） No. 4

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
17 教育出版	ONE WORLD Smiles	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切なものが選択されている。 ○ 児童の発達の段階に適應している。 ○ 製本サイズはしっかりしており、A B判である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学年から、高学年、そして中学校へと、学びの歩みが見通せる「学びのロードマップ」を設け、主体的に学習に取り組む姿勢を育むことができる。 ○ 2年間の学習を通して、「聞くこと・話すこと」から段階的に「読むこと・書くこと」への学習を取り入れている。 ○ 単元の構成は、映像を見ながら聞く活動、音声のみで聞く活動、簡単な話す活動[やり取り]、最終活動[やり取り・発表]となっており、シンプルで分かりやすい単元構成になっている。単元の導入は、映像を見る活動から入るため、単元全体の学習内容をイメージしやすい。また、最終ゴールを動画でみることができ、身に付けるべき力が分かりやすい。 ○ 海外の生活を身近に感じられるコーナー、World of Smilesが新設されている。生活に身近な食べ物や行事などの紹介を通して、多様性にふれることができる。日本と海外の違いや共通点を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5年生の日本全国の名所・名物マップ、シールを使ったピザづくり活動、6年生の世界のマップなど、表現意欲を高める言語活動があり、学習内容を工夫している。 ○ 単元の最終活動に向けて、「読むこと・書くこと」を段階的に学ぶことができる。1文ずつスモールステップで書き進めるコーナーが新設されている。 ○ 巻末に最終活動のためのワークシートがあり、自分の思いやアイデアを書いて表現する活動に取り組める。自分の思いを形にしたり、友達と読み合ったりすることで自尊感情や他者理解の気持ちを育むことができる。 ○ デジタル教科書には、英単語や英文を押すとネイティブの音声再生される。「録音・再生」ボタンから自分が話す音声を録音したり、録音した音声を再生して確かめたりできる。 	<p>2年間を通して「聞くこと・話すこと」を中心に、段階的に「読むこと・書くこと」を学べるようになっており、4技能5領域の言語活動がバランスよく配置されている。コミュニケーションの目的や場面、状況に応じた活動が設けられており、基礎的な技能が身に付くように配慮されている。</p> <p>各単元、聞くことから始め、発話してみるやり取りを経て、書いて整理したうえで、やり取り・発表をする分かりやすい構成になっている。</p> <p>題材内容については、身近な学級内や地域、国内、海外へと学年や単元が進むにつれて徐々に視野が広がっていくように構成されている。</p> <p>他教科との関連、ワークシートやシールなどの資料が数多くあり、児童が楽しみながら学習できる工夫がある。</p> <p>家庭学習にも適しており、デジタル教科書を有効的に活用できる。</p> <p><u>以上のことから、採択するのに最も適している教科書であると考える。</u></p>

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
38 光 村 図 書	Here We Go!	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切なものが選択されている。 ○ 児童の発達の段階に適応している。 ○ 印刷・製本はしっかりしており、A B判である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元は、「Hop」「Step」「Jump」という流れが統一されており、ゴールまでの流れが分かりやすくなっているため、学習が進めやすい。 ○ 学年の目標を設定し、CAN-DO リストや重点化領域が示されているため、児童にとって学習目標が明確になっているため、見通しをもって学習に取り組める。 ○ 言語活動では、目的・場面・状況を明確に設定しているだけでなく、Small Talk や既習表現を活用場面に随所に設定しているため、思考力・判断力・表現力を育む工夫がされている。 ○ 続きを見たくくなるようなアニメーションがあり、ストーリーの最後は、自分ごととして考えられる内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1つの題材の中に、4技能をバランスよく取り入れている。4技能5領域を表すマークは、児童にも一目で分かるデザインになっており、児童が意識しながら活動できる。 ○ 「まとめ」の活動を3回設定していることから、各領域の達成度を確認できる。 ○ Picture Dictionary があるため、様々なゲームを通して単語に慣れ親しむだけでなく、「書くこと」への抵抗も減らすことができる。 ○ デジタル教材では、音声や映像の速度調整や字幕のオンオフを個に応じて設定したり、各活動の自己評価の記録を教師に送ったりできる。 △ 各単元の「話す（発表）」で使うワークシートがあまり充実していないため、指導者が作成する必要がある。 	<p>巻頭に CAN-DO リストを示し、一年間の学習の流れや目標が分かる。自己評価欄があり、自分の学びを可視化して残すことができる。また、各単元内の目標や学習の流れも明示するなど、系統的・発展的に構成されている。</p> <p>どの単元も4技能5領域がバランスよく身に付けられるような構成になっている。</p> <p>学習内容が簡単なものから、難度が高くなるように段階的に配列されていたり、活動のモデル動画を見たりすることができるなど工夫されている。</p> <p>各単元の「話す（発表）」で使うワークシートは、活動に応じて指導者が事前に準備する必要があり、工夫を要する。</p> <p><u>以上のことから、採択するのに適している教科書であると考える。</u></p>

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
63 新興出版社啓林館	Blue Sky elementary	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切なものが選択されている。 ○ 児童の発達の段階に適切している。 ○ 製本サイズはA4判である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての単元において、「とびら」「Step1,2」「Step3」「Look Back」「Did you know」「Let's Read and write」の順に、題材や活動を配列している。 ○ UnitのGOALに加えて、Stepのめあてが明示されており、児童が見通しを立てて、学習に取り組めるように配慮されている。 ○ 掲載ページを示し、本文と巻末のWord Listを相互に関連付けている。 ○ QRコードの掲載が豊富なため、環境を整えば音声・映像・単語クイズ・話すための「英文 Maker」などが視聴できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各 Unitは、「とびら」で出合わせ、「Step1,2」で身に付けさせたい表現に慣れさせ、「Step3」でActivityを通してコミュニケーションを楽しませ、「Look Back」で活動を振り返らせるような無理のない指導の流れになっている。異文化紹介やアルファベットの読み書きができるコーナーもある。 ○ 話す楽しさを大切にするために、児童の日常生活に沿った内容が扱われている。 ○ 異文化紹介のコーナーのスペースが広く、より多くの情報や写真を見ることができ、異文化への関心を高めたり、理解を深めたりすることができる。 <p>△ 巻末のアルファベットカードは、やや文字が小さく、自分で色をぬるようになっており、児童によっては正しい形でアルファベットを認識することが難しいと考えられる。</p>	<p>各 Unitは、4技能5領域の活動をスモールステップで繰り返しながら、少しずつできることを増やしていけるように配慮されている。</p> <p>多様な価値観を知らせることで、異文化理解を深めさせ、世界の様々な人々と協働するために必要な能力を身に付けさせることができるように工夫されている。</p> <p>デジタル教科書は、多様なQRコンテンツの利用、特別支援機能の充実、音声の速度変更などができ、一人一人の状況に対応できるものになっている。</p> <p>教科書の文字の大きさや太さなど、全体的に見づらい印象を受け、工夫を要する。</p>